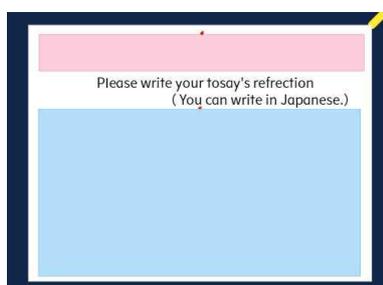


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

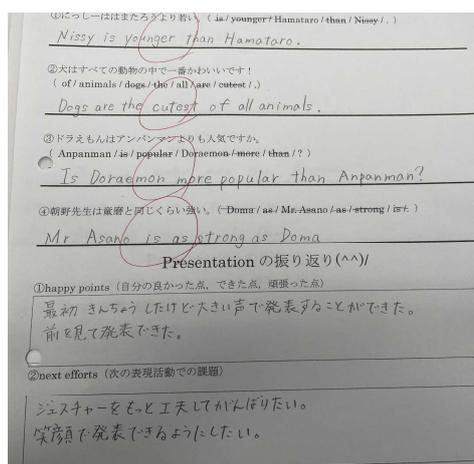
| | | | |
|-----|-----------|-------|------|
| 学校名 | 指宿市立山川中学校 | 児童生徒数 | 201人 |
|-----|-----------|-------|------|

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



- ① English (発音大丈夫?)
- ② Voice (はっきり、大きく)
- ③ eye contact (相手の目を)
- ④ enjoy speaking (超大事)

11時15分までは、many chances!
11時15分までに、final cutを提出



○ 教科書による Can-Do リストを使用し、生徒は各時間で各自の目標と全体の目標を設定した。ピンクの付箋に各時間の目標を書き、それに対する反省を水色の付箋に書く予定にしていた。

○ presentation の前時に practicing time を設け、発表の練習風景をロイロノートで撮影させ、発表の視点を意識しているか確認できるようにした。視点は以上のものを示し、生徒は省察した。

○ ただ感想を書かせるのではなく、その単元で必要な重要表現を確認できるようなポストテストも導入し、今後に生かせるような工夫を行った。写真上部がポストテストである。

取組についての概要 (成果)

第2学年 英語科「Stage Activity ② Research and Presentation」における実践本単元は、2学期のまとめになっている。生徒はグループに分かれ、トピックを決め、アンケートを取り、結果を集計、分析を英語で行い、グラフ等も作成して全体で発表する授業を行った。生徒が主体的に学習するために、アンケート作成、英文による分析の際、教師による指導を極力抑えた。さらに、各授業の全体目標を提示しつつ、各個人の目標も設定させ、最終的に教科書の Can - Do リストの目標に繋がるような手立てを行った。今回はロイロノートで評価を積み重ねていこうと考えたが、接続の問題で繋がらないことが多かったため、記録に残すことができなかった。次年度は、紙による評価にし、達成度の数値化と記述による振り返りを行っていきたい。